



Dグループ 白井第一小学校区

はしそろピック in 菊華園

初めての企画でしたが、近隣にお住まいの方、施設入所者、そろばん塾のお子さんなど45人の参加がありました。団体戦では、同数が続き、そろばん塾で鍛えた暗算を披露してもらったり、一発勝負の個人戦などで大いに盛り上がりました。次回は、3月にサクラビアで開催の予定です。

担当 赤間 ・ 渡邊

F-2グループ チームはじめて

F-1グループ 企業の千・カラ

ウィズホスピタル千葉白井でのサロンの様子



12月9日(金)、ウィズホスピタル千葉白井で初めてのサロンを開催しました。一般の参加者の方、入所者の皆さんが集い、楽しい時間を過ごしました。また、初めての試みとして和菓子の販売を行い盛況でした。



第2回 サロンさつきの里

日時 12月24日(土)
13時～15時30分



第5回 地域ぐるみネットワーク ふれあい会議

日時: 12月21日(水)
14時～16時

場所: 保健福祉センター 3階
団体活動室

* 団体活動室でみんなの話も聞きたいけど、地域のみんなで別の日に話し合いをしたいと希望されるグループは相談してください。
生活支援コーディネーターが伺います!!

※会議について、ご意見などがありましたら、右記まで連絡をいただければと存じます

地域ぐるみネットワークふれあい会議担当

白井市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 仲山
☎ 047(492)5713 FAX 047(492)3600

地域ぐるみネットワーク ふれあい会議

～高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすために～

A圏域(白井第一小・白井第二小・南山小・池の上小・桜台小) 第5回報告

11月30日(水)に、第5回目の話し合いが行われました。民生委員・介護保険サービス事業所・地域の皆さんなどさまざまな立場の方37人が参加してくださいました。

千葉市社会福祉協議会で行っている「買い物支援」について、講義を受けました。その後、小学校区又は地区別(桜台地区・堀込地区・南山地区・第一小)と地域を問わない企業のグループに分かれ話し合いが行われましたので報告します。



ふくまる

1. 地域ぐるみネットワーク・ふれあい会議の目的

地域ぐるみネットワーク会議は、地域(小学校区単位)に住む人たちが、高齢者の見守り支え合いのために話し合い、実践するための会議で、誰でも参加することができる話し合いの場です。

グループへの実践活動費の支給について

地域ぐるみネットワーク会議では、皆様の取り組みで様々な取り組みやモデル的な実践が生まれています。

取り組みにかかる経費のご相談を受けることもあり、活動費について検討を重ねてきました。この度、白井市との話し合いが整い、各グループで行う取り組みに対して、活動費を支給できることとなりましたのでぜひ、ご検討ください。

支給の要件

1. 地域ぐるみネットワークふれあい会議に属するグループによる実践であること
2. 生活支援・介護予防サービスに関連する取り組みであること
3. 広く地域の高齢者が対象となる取り組みであること
4. 原則として、外部団体から助成金や活動費の支給を受けていないこと
5. グループ内で実践中の窓口となるグループリーダーを決めること



支給額 支給開始月から1年間分として上限30,000円
対象経費 実践に使用する消耗品・燃料費・会場費用・コピー代・保険料・担い手に対する手間賃・視察旅費など
期間 1つの実践(テーマ)について、支給開始から2年間(上限60,000円)

※詳細につきましては、社会福祉協議会までお問合せください。

「買物支援サービス事業について」千葉市社会福祉協議会 地域福祉推進課（村田氏・小林氏）

課題：人口減少等を背景に地域商店が撤退し、**買い物に不便を感じている高齢者等が増加**
 目的：福祉施設・企業・民生委員等と連携し、**買い物支援を行うと同時に外出の機会の創出、閉じこもりの防止など介護予防に資すること**



講義では、買い物支援サービスの流れを映像で紹介していただき、大変参考になりました。事業実施までの流れや実施状況などのレジュメを希望する方はお申し出ください。

11月30日の話し合いの様子



2. グループワーク

各地区のこれからの取り組みについて話し合いをしました。

Cグループ 買い物支援グループ(南山)

千葉市社会福祉協議会（村田氏・小林氏）にも参加していただきグループでの話し合いを行いました。

事業化を進めるにあたっての課題や、事業実施までの流れなど、メンバーの質問に丁寧に答えていただき、今後の進め方について具体的な形を考える機会となりました。



担当：米澤・加藤

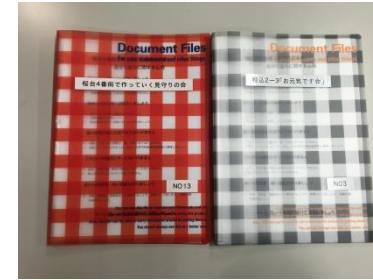
質問内容とそれに対するアドバイスについては、後程Q&Aにまとめて皆さんにご紹介します。



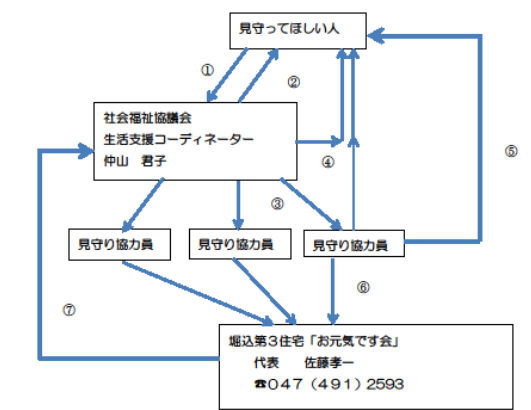
Aグループ 訪問型見守りグループ（桜台・南山）

Bグループ 訪問型見守りグループ（池の上）

両グループ共に**試行**に向けての話し合いをしました



見守り活動の流れ



- ①<申し込み>見守ってほしい人からの申し込みを受ける
- ②<アセスメント>訪問して、見守りの内容などを伺う。
- ③<マッチング>見守り協力員に連絡を取り、調整をする。
- ④<訪問>初めての活動は、コーディネーターと協力員が同行して、顔合わせをする。
- ⑤<活動>協力員が見守り活動をする。
 - ・活動したら、報告書を作成する
 - ・訪問時留守の場合は、連絡票に記入しポストインし、社会福祉協議会へ連絡をする。
 - ・社会福祉協議会では、見守ってほしい人に連絡を取り、協力者へ報告をする。
- ⑥<報告書>見守り報告書は、当月活動分を翌月10日までに、連絡係へ提出する。
 - ・専用の袋を利用する。
 - ・連絡係は、次月の用紙等を協力員へ渡す。
- ⑦<報告>連絡係は、1か月分の報告書をまとめて社会福祉協議会へ提出する。

- ※試行を実施するために確認しておきたいこと
- Q 利用者への個人情報の保護についての周知
- A・名札の裏面に、個人情報遵守について明記します
- ・個人情報守秘に関する誓約書の提出
- Q 基本的な活動の方法について知りたい
- A・活動のてびきを準備します

担当 鈴木：仲山

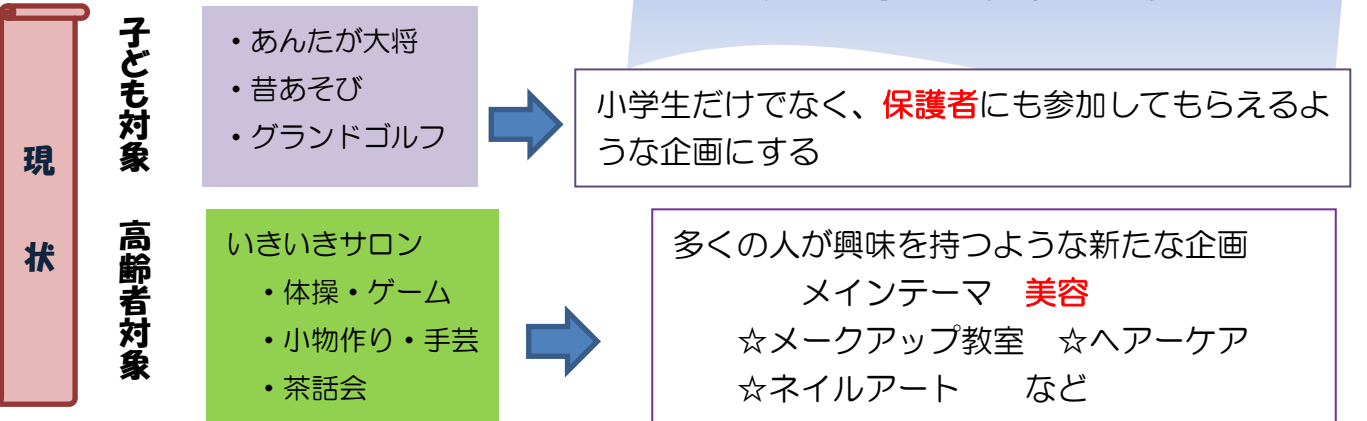
Eグループ 白井第二小学校区

問題点

- ・現状に満足している。
- ・新しい企画や新たなイベントへの参加が少ない。
- ・若い世代（嫁・孫など）が仕事についているため留守が多い。

担当：秋本

幅広い年齢層の参加を目指す



多くの人が興味を持つような新たな企画
 メインテーマ **美容**
 ☆メイクアップ教室 ☆ヘアケア
 ☆ネイルアート など